

1. 件 名：東北電力株式会社東通原子力発電所の原子力事業者防災訓練に係る意見交換について
2. 日 時：令和6年1月29日（月）13時30分～18時05分
3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓
4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）
 - 原子力規制庁
 - 緊急事案対策室
 - 川崎企画調整官、反町専門職、嶋崎専門官、澤村専門官、酒井専門職、五十嵐係員
 - 東通原子力規制事務所
 - 里信専門官
 - 東北電力株式会社
 - 原子力本部 原子力部課長（原子力防災担当） 他5名

東北電力株式会社から、令和5年9月5日に同社東通原子力発電所において実施された原子力事業者防災訓練について、訓練実施結果報告として資料1～資料3に基づき説明があった。

原子力規制庁からは以下についてコメントし、東北電力株式会社から、本日の意見交換を踏まえ資料修正を行い、後日提出する旨の回答があった。

- ・ 訓練を実施した結果としてどのような効果が得られたのかを資料2の自己評価箇所及び防災訓練実施結果報告書に記載すること。
- ・ 資料1のうち「原子力災害時における「やることリスト」」に関し、本部による発言が必要としていた事項のうち今回の訓練結果により発言不要としてリストから削除する事項については、その削除理由を追記すること。
- ・ リエゾン派遣訓練を実施した結果として見出された課題について、記載を充実させること。
- ・ オフサイトセンターへの派遣訓練（9月5日）についても、防災訓練実施結果報告書に追記すること。
- ・ 今回、2部制訓練として行っていることから、防災訓練実施結果報告書において1部訓練／2部訓練に分けて記載すること。

また、原子力規制庁から、原子力事業者から自治体に派遣するリエゾンに関し、養成計画の必要性についてコメントし、東北電力株式会社から、今後検討する旨の回答があった。

東北電力株式会社から、面談後にERC対応ブース発話者・ERCリエゾン育成・配置要領の提出があった。（資料4）

6. その他

配布資料：

資料 1 2023 年度東通原子力発電所防災訓練 訓練指標に対する自己評価資料（東北電力株式会社）

資料 2 原子力事業者間評価「東通原子力発電所_2023 年 9 月 5 日」（東北電力株式会社）

資料 3 防災訓練実施結果報告書（案）（東北電力株式会社）

資料 4 ERC 対応ブース発話者・ERC リエゾン育成・配置要領（東北電力株式会社）